

平成 24 年 10 月発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366

Tel 0996-52-0119

Fax 0996-53-0119

Web <http://www.satsuma-net.jp/119/>

mail shobo@satsuma-net.jp

指揮者 栗野 栄進

1 番員 栗牧 浩幸



4 番員 下大迫 廣幸

2 番員 中園 政次郎

3 番員 下大迫 浩作



祝

神子分団 薩摩支部消防操法大会優勝

県消防操法大会にも出場

主な内容

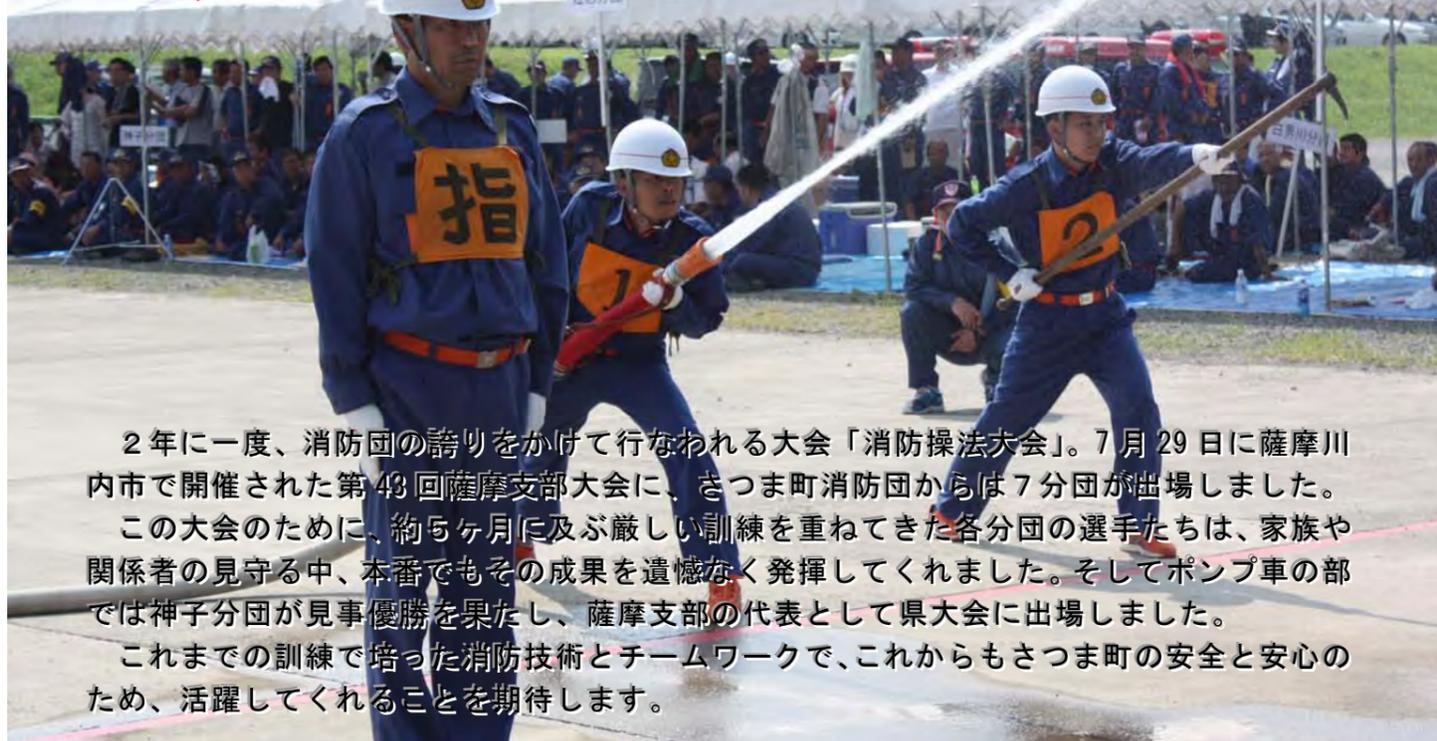
- 1~2 ページ・薩摩支部・県消防操法大会特集
わがまちの消防団(佐志・湯田分団)
- 3 ページ……秋の全国火災予防運動
落雷の「り災証明書」
- 4 ページ……火災予防条例関連
煙体験ハウス購入
- 5 ページ……救え!大切な命(集団救急事故訓練)
消防ほつと写真館

平成24年度全国統一防火標語

消すまでは
出ない、行かない
離れない



熱戦 団員たちの熱い夏



2年に一度、消防団の誇りをかけて行なわれる大会「消防操法大会」。7月29日に薩摩川内市で開催された第43回薩摩支部大会に、さつま町消防団からは7分団が出場しました。この大会のために、約5ヶ月に及ぶ厳しい訓練を重ねてきた各分団の選手たちは、家族や関係者の見守る中、本番でもその成果を遺憾なく発揮してくれました。そしてポンプ車の部では神子分団が見事優勝を果たし、薩摩支部の代表として県大会に出場しました。これまでの訓練で培った消防技術とチームワークで、これからもさつま町の安全と安心のため、活躍してくれることを期待します。

家族みんなに支えられて・・・



筒先員交代！！

よし！！

シリーズ わがまちの消防団

湯田分団

※平成24年9月1日現在

分団長 新改 義則

副分団長 辻園 正光 以下16名

管轄～湯田地区

私たち湯田分団は団員16名です。火災、風水害などさまざまな災害から、地域の安心・安全を守るために日夜頑張っています。

今後は、消防支援隊と共に地域の予防消防に努めていきます。

これからも地区の皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

佐志分団

※平成24年9月1日現在

分団長 小川内 繁

副分団長 竹中 修一 以下20名

管轄～佐志地区

佐志分団では、毎年、危険箇所、消火栓・防火水槽等の点検活動を行っています。また、消火器の薬剤詰め替え・不良品の取替を5年ごとに業者に依頼し、その普及活動に努めています。

佐志地区には日本特殊陶業や周辺に倉内工業団地等があり、地域を含めて災害に対応できるよう訓練や予防活動に努めてまいります。

さらに、地域のいろいろな行事等にも積極的に参加して、地域活性化に奉仕の精神で団員一丸となって取り組んでまいります。



放水はじめ！！



薩摩支部大会結果

◎ポンプ車の部

- 第1位：神子分団
- 第4位：久富木分団
- 第6位：中津川分団
- 第7位：鶴田分団

◎小型ポンプの部

- 第4位：二渡分団
- 第6位：佐志分団
- 第7位：白男川分団



放水やめ！！



秋の全国火災予防運動

消防署では、「消すまでは出ない行かない 離れない」の全国統一防火標語を合言葉に、11月9日から15日までの7日間にわたり、秋の全国火災予防運動を実施します。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災による死傷者及び財産の損失を防ぐことを目的として、毎年「119番の日」である11月9日から実施しています。

期間中には様々なイベントを行い、防火を呼びかけていきます。

期間中の主なイベント

◎ 11月10日 防火パレード

幼年消防クラブの園児らと街中をパレード

◎ 11月11日 JA北さつま農業祭

車両展示・煙体験・幼年消防クラブの演技

◎ 11月18日 さつまフェスタ

消火体験・救助体験・煙体験・一日消防署長

◎ 各地区の文化祭で園児の消防車写生会作品展示

寝タバコは絶対しない



ストーブは、燃えやすいものから離れた場所を使用する



ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す



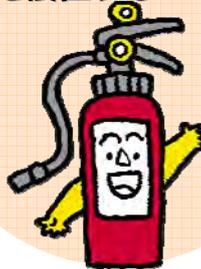
住宅防火

命を守る1つのポイント 3つの習慣・4つの対策

お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる



家庭に住宅用消火器等を設置する



寝具、衣類及びカーテンには防炎品を使用する



逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する



役場 TEL52-1111

落雷被災時の【り災証明書】は『火災ではない』ので、消防署では発行することができません。ただし、落雷が原因で火災になった場合には、消防署で発行致します。

落雷の【り災証明書】については、役場・安全安心対策課へお問い合わせください。

落雷による電化製品等の故障に伴う、【り災証明書】の発行については、相談が寄せられることがあります。

落雷のり災証明書

この運動を機に、日頃忘れがちな火災に対する警戒心の喚起を行い、一人ひとりが防火の重要性を自覚し、日常生活での防火を実践しましょう。

届け出てますか？ 重油タンクなど

一定の数量以上の危険物を貯蔵した取り扱う場合は、火災予防条例により消防本部に届出が義務付けられています。

ビニールハウス等でポイラーの燃料として使用されている灯油・重油等のタンクもその対象となります。

未届けのタンク等がありましたら速やかに届け出て、消防本部の指導を受けて下さい。

【届出が必要な主な危険物の指定数量】

- ガソリン 40㍓以上 200㍓未満
- 灯油・軽油 200㍓以上 1000㍓未満
- 重油 400㍓以上 2000㍓未満



電気自動車用

急速充電設備

の基準が定められました

電気自動車の普及に伴い設置が進められている急速充電設備について、火災予防条例により、急速充電設備の位置、構造及び管理の基準について、以下のように定められました。

○防火上有効な措置が講じられた構造として、急速充電設備の外側の箱は可燃材料の金属材料で造ること。

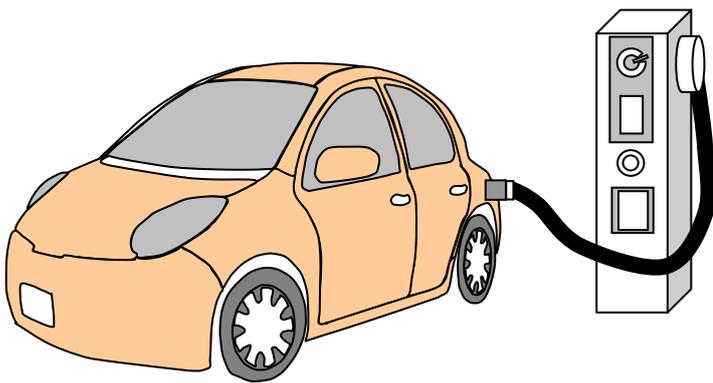
○振動や衝撃により、転倒、落下、破損等を生じない構造として、堅固に床、壁、支柱等に固定すること。

○急速充電設備の機能に支障を及ぼさない構造として、雨水等の浸入防止の措置を講じられたもの。
○急速充電設備の設置してある場所の入口又は直近の見やすい位置に、『急速

充電設備』と標記した掲示板を設置すること。

※施行日は、平成24年12月1日です。

※既に設置若しくは設置の工事がされているものについては適応されませんが、火災を発生させないためにも、基準に適合するように努めてください。



煙体験ハウスで避難体験

平成24年10月31日

助成事業（宝くじの助成による事業）により助成を受け、煙体験ハウスを購入しました。

この体験ハウスは、中で人体に無害な煙を発生させ、火災時における煙の怖さを知り、適切な避難方法を体験することが出来ます。

今後、幼年消防クラブや婦人防火クラブ等に対する講習会や各種イベント等に活用し、防火思想の普及に役立てていきます。



NEW! 新人紹介



◆消防士 下築 翔（20歳）
（永野出身）



今年度4月にさつま町消防本部に採用をいただき、中学校の職場体験の時、先輩方の姿をみて、自分も消防士として働きたいと強く思った夢が叶いました。

慣れ親しんださつま町で消防士として地域に貢献し、生命・財産を守ることに誇り、やりがいを感じています。昨年の大震災の際、その過酷な環境の中での消防士の方々の活躍は、私の心にとても大きく響きました。いつ起こるか分からない災害に対し、多くの人を救うことができ、多くの消防士になれるよう、努力していきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

救え！大切な命



救急救命士による一次トリアージ

集団救急事故訓練実施

『乗用車が歩行者の列と衝突する交通事故により、多数の負傷者が発生している。』との想定で消防本部・薩摩郡医師会病院合同の集団救急事故訓練を9月13日に実施しました。



応急救護所での医師による救命処置

訓練では、まず救急隊によるトリアージ（重症者と軽症者のふるいわけ）が行われたのち、救護所にて医師会病院スタッフと合同で傷病者役の患者への応急手当や搬送訓練などを行いました。

この訓練で、集団救急事故等の災害における医療機関と消防本部の連携の重要性を再確認することができました。

消防ほっと写真館



2012.06.01

県下各消防本部の精鋭たちが一同に会し、技術を競います。
【県消防救助大会】



2012.06.04

本物の防火衣（ちょっとブカブカ・・・）を着て大満足！
【鶴田小4年生社会科見学】



2012.07.03

強い水圧に耐えながらの放水。野球で鍛えた体力が勝負！
【山崎中学校職場体験】



2012.07.18

署員の説明を聞き漏らすまいと、じっと見つめてお勉強。
【求名小4年生社会科見学】



2012.09.25

防火衣を着装して、消防車に乗って笑顔で出動！
【鶴田中学校職場体験】



2012.09.26

地上5m。バランスを取りながら慎重に、慎重に！
【薩摩中学校職場体験】